

## 6 その他

【6-1】緑化センター月別利用者数(平成26年度末)

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	257	2,148	226	245	163	246	2,318	224	36	0	0	63	5,926

※開所(昭和58.4.1)からの累計 人

資料:特定非営利活動法人 緑の相談室

担当:森林整備課

【6-2】普及職員配置状況

(単位:人)

年度	林業普及指導員					合計
	本庁	林業技術センター	計	指導区	計	
平成 22	0	3	3	36	36	39
23	0	3	3	36	36	39
24	0	3	3	36	36	39
25	0	3	3	36	36	39
26	0	3	3	36	36	39
27	0	3	3	36	36	39

担当: 林業技術センター

(付表) 林業普及指導員の指導区別配置状況

(単位:人)

年度		平成 22	23	24	25	26	27
指導区							
盛岡		3	3	3	3	4	4
花巻		4	4	4	4	4	4
水沢		4	4	4	4	4	4
一関		5	5	5	5	4	4
大船渡		3	3	3	3	3	3
遠野		3	3	3	3	3	3
釜石		2	2	2	2	2	2
宮古		4	4	4	4	4	4
岩泉		2	2	2	2	2	2
久慈		3	3	3	3	3	3
二戸		3	3	3	3	3	3
計		36	36	36	36	36	36

担当: 林業技術センター

【6-3】普及指導職員研修実施状況(平成26年度)

(ア) 国等の行う中央研修

研 修 名	受 講 者 数	研 修 日 数	場 所
1 一般研修	7人	3～5日	森林技術総合研修所
2 林業機械研修	-	-	-
3 普及指導職員シンポジウム			
(1) 全国	4人	2日	東京都
(2) 東北・北海道ブロック	4人	2日	宮城県
4 森林総合監理士育成研修	10人	2日	盛岡市、紫波町

(イ) 県が実施した研修

研 修 名	受 講 者 数	研 修 日 数	場 所
1 自己啓発研修			
竹林の放射性物質の除染方法ほか	5人	1～3日	宮城県ほか
2 その他の研修			
(1) 資質向上研修(現地出前講座)	15人	2日	久慈市、住田町
(2) 指導林家等研修	8人	2日	北上市、西和賀町
3 全体研修	38人	2日	盛岡市

担当：林業技術センター

## 【6-4】緑の少年団の推移

(単位:団数:団、団員数:人)

区分 \ 年度	平成 22	23	24	25	26
団 数	126	118	116	115	110
団 員 数	4,303	4,952	4,657	4,486	4,129

担当: 森林整備課

## 【6-5】林業研究グループ等の推移

(単位:グループ数:グループ、会員数:人)

区 分		年 度					
		平成 22	23	24	25	26	
林業研究グループ	グループ数		39	40	25	23	23
	会員数	男	650	661	389	359	327
		女	134	137	103	103	93
		計	784	798	492	462	420

注:平成24年度以降は岩手県林業研究グループ連絡協議会会員のみ記載

担当:林業技術センター

【6-6】研究課題（平成27年度実施）

事業名、研究課題名（予算区分）

- 1 優良品種開発促進事業（県単）
  - (1) マツノザイセンチュウ抵抗性品種の開発
  - (2) スギ花粉等多様な形質の家系評価と検定技術の開発
- 2 県産材高付加価値化生産技術開発事業（県単）
  - (1) 県産製材品の住宅用床・壁組への利用技術の開発
- 3 防潮林再生緊急調査事業（県単）
  - (1) 防潮林再生緊急調査事業
- 4 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業（国庫受託）
  - (1) カラマツ下刈り回数の削減技術の開発
  - (2) アカマツ材の高付加価値化に向けた用途開発 ※
- 5 農林水産技術会議委託プロジェクト研究（国庫受託）
  - (1) 林地環境改善によるシロ活性化技術開発
- 6 試験研究（県単）
  - (1) コンテナ苗等を活用した育林初期経費の低減技術の開発
  - (2) アカマツの用途拡大のための活用技術の開発
  - (3) 原木シイタケ安全安心栽培技術の開発
  - (4) 林内放射性物質モニタリング調査事業
  - (5) 広葉樹被害の実態把握と防除技術の開発
  - (6) カラマツ優良種苗の安定生産に向けた技術体系化

※ 6(2)の研究課題は、4(2)の研究課題と合わせて1課題として実施（課題数は12課題）。

担当：林業技術センター